

富士市のごみ問題の 現状と 今後の対応について

富士市のごみを考える会

ごみ処理の総量減少

前年比 1696トン

富士市

富士市はこのほど、令和4年度のごみ処理状況をまとめた。市が処理したごみ総量は7万1623トで、前年度比1696ト(2.3%)減少し、3年連続で減少となった。ごみ処理総量の内訳は、焼却量が6万2026ト(前年度比791ト減)、資源物量が8334ト(同392ト減)、埋め立て・その他が1263ト(同513ト減)となった。家庭系ごみ市民1人当たりの排出量は497で、「富士市ごみ

処理基本計画2015-2024」の目標値(464)は達成できなかった。焼却量も650で目標値(628)には及ばなかった。資源化率は12.2%で前年度を0.3ポイント下回り、月別で見ても目標値の18.6%を上回る月はなかった。焼却量のうち、家庭系は前年度比578ト減少の4万3939ト、減少率は1.3%だった。このほか、り災物(焼却)は22トで同40ト減、下水・し尿

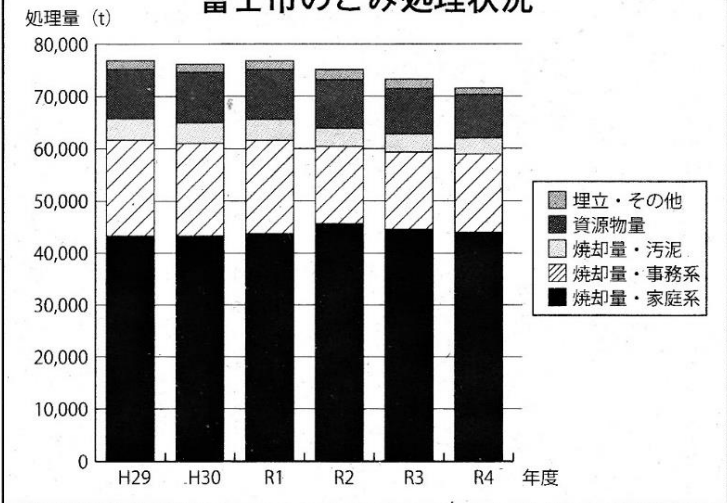
汚泥は3078トで同368ト(10.7%)減。一方、事業系・その他は1万4987トで同195ト(1.3%)増加したが目標値の1万6200トを下回って達成した。資源物量の総量は8334トで前年度比392ト減少した。ごみ処理総量に対する資源化率は12.2%で前年度より0.3ポイント下回った。内訳は前年度比でびんが3.7%増加。かん・金属10.3%、古紙類は14.9%減少した。その

他、ペットボトル71ト(15.1%)、衣類・小物類(靴、鞆、ベルト等)175ト(33.0%)、廃食用油9ト(90.0%)は増加。剪定(せんでい)枝61ト(10.4%)、布団類181ト(49.1%)、容器プラ40ト(2.2%)は減少した。

このうち古紙類については、新聞・雑誌等の紙媒体の発行部数減少および古紙ステーションの活用が、208ト減少の一因だとされている。市廃棄物対策課によ

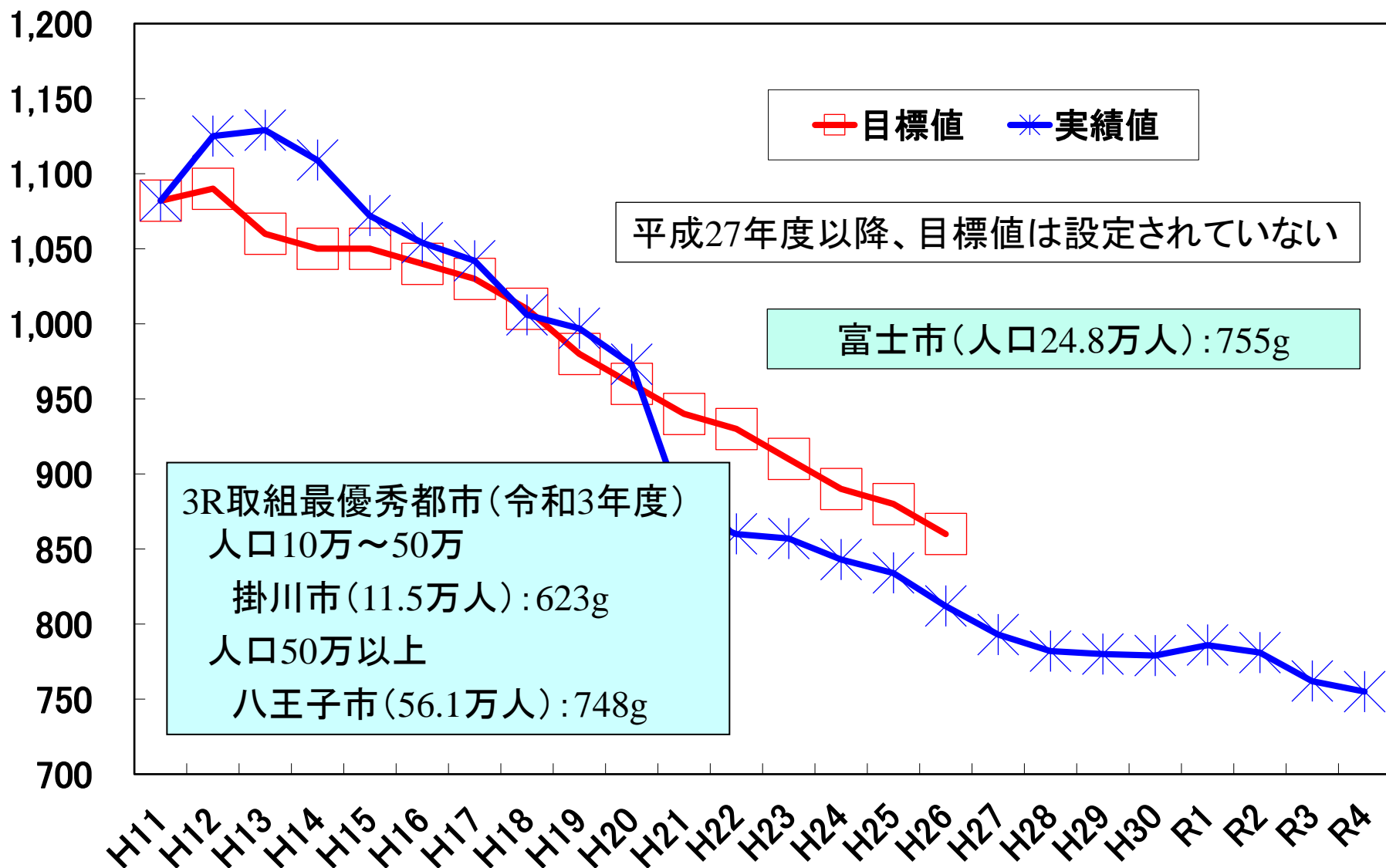
ると、4年度のごみ総量減少の要因としては、コロナ禍に改善が見られ、自宅で過ごす時間が減り家庭系のごみが減少した一方で、事業系のごみは微増し、コロナ禍前の水準に近づいたと見解を示している。資源物量が392ト減少したことについては、市民のリデュース意識の向上や民間の回収ボックスの活用によるもの。SDGsへの取り組みなどによる企業努力が根付きつつあるとしている。

富士市のごみ処理状況

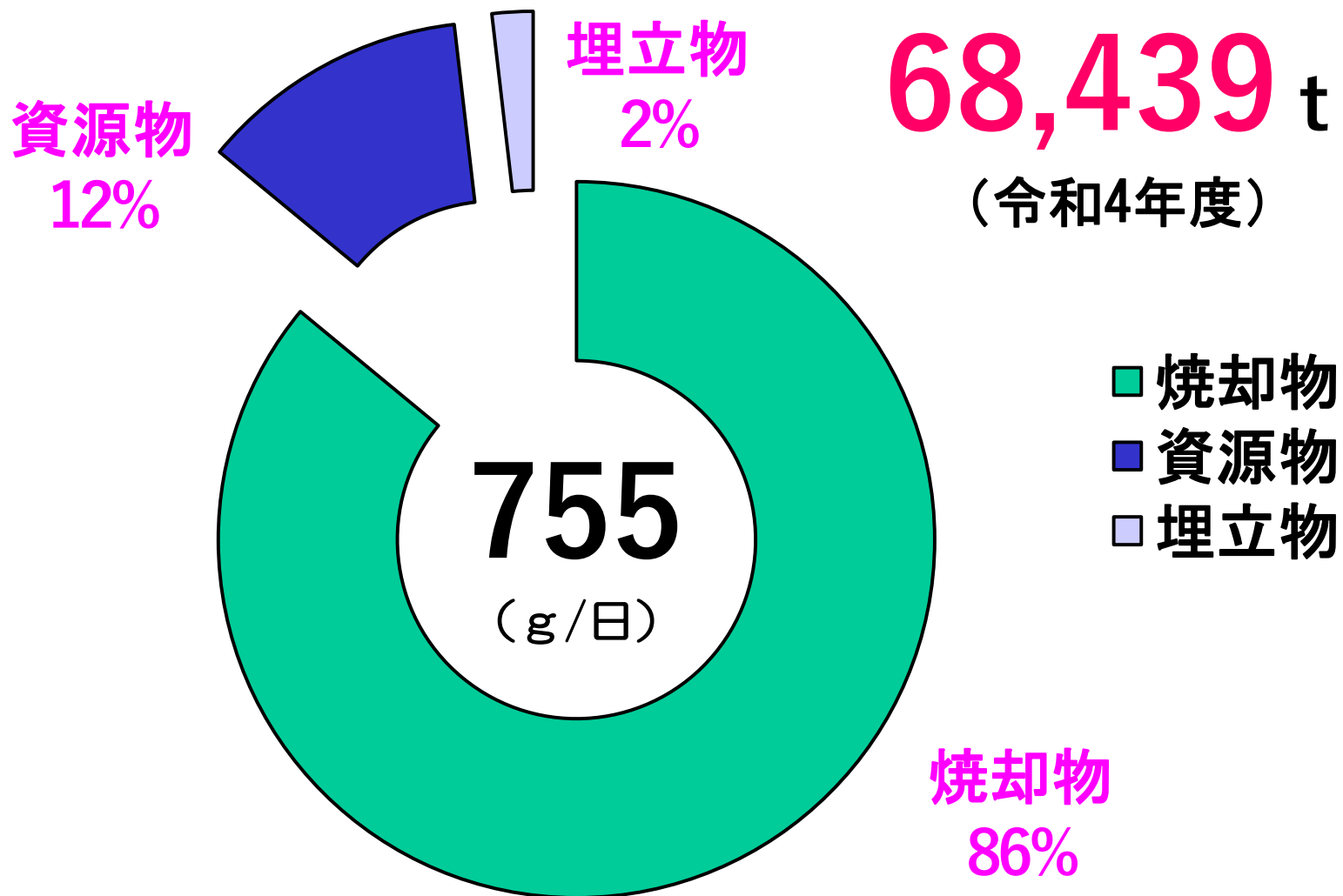


私たちは、毎日、
どんなごみをどの位
出しているか

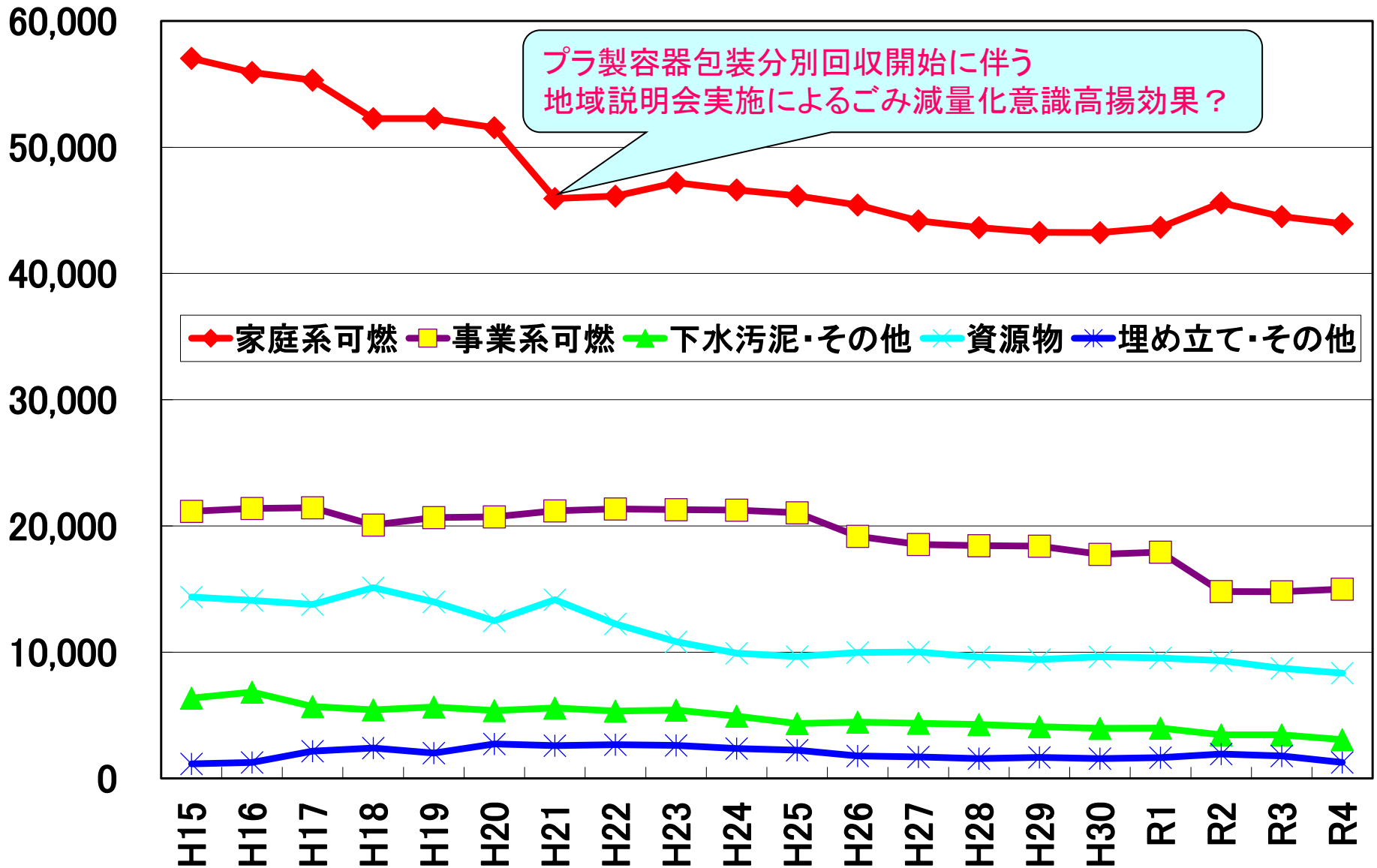
1人1日当りのごみ総排出量 [g]



私が1日に出してゐる“ごみ”

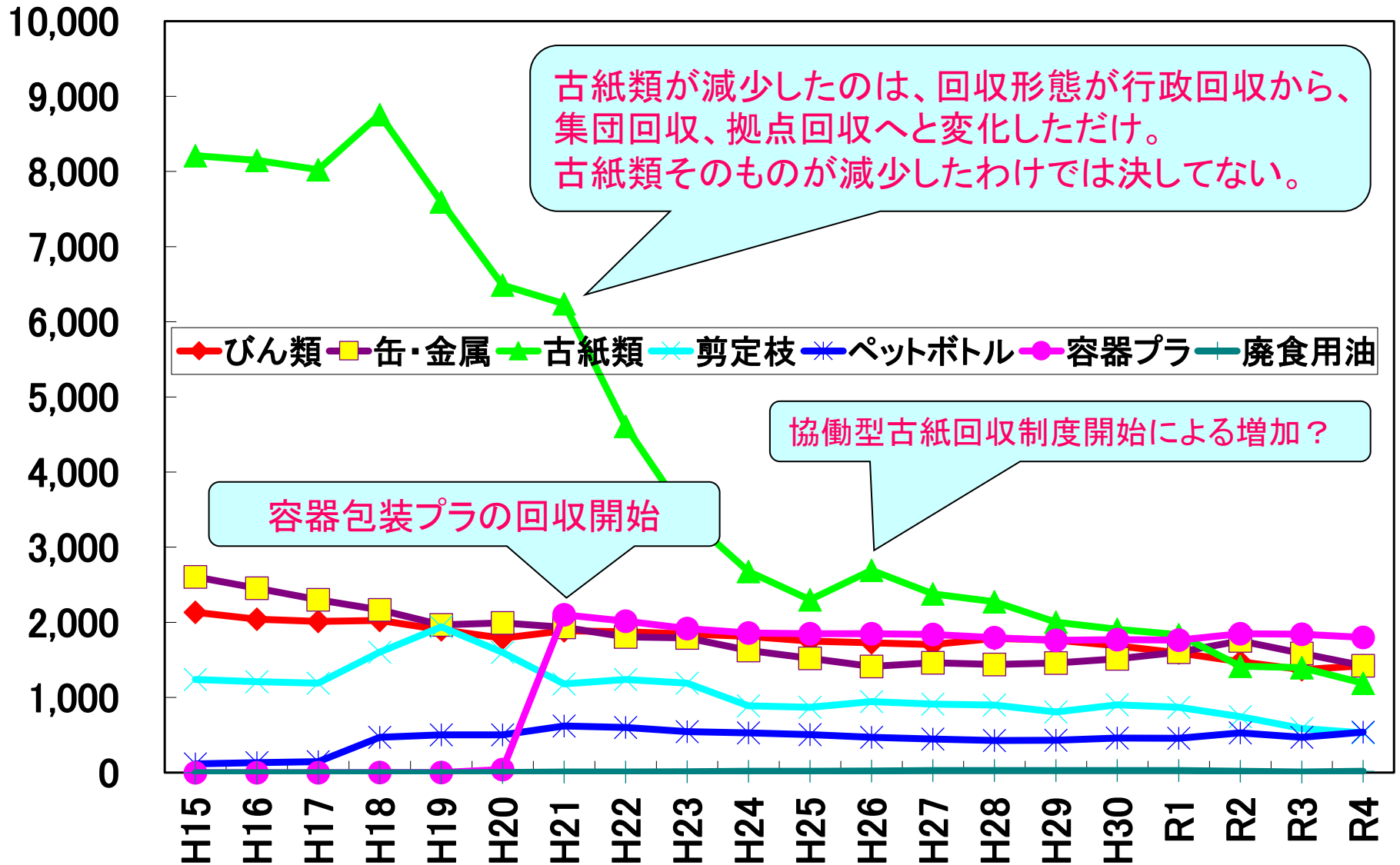


ごみの構成成分の変遷

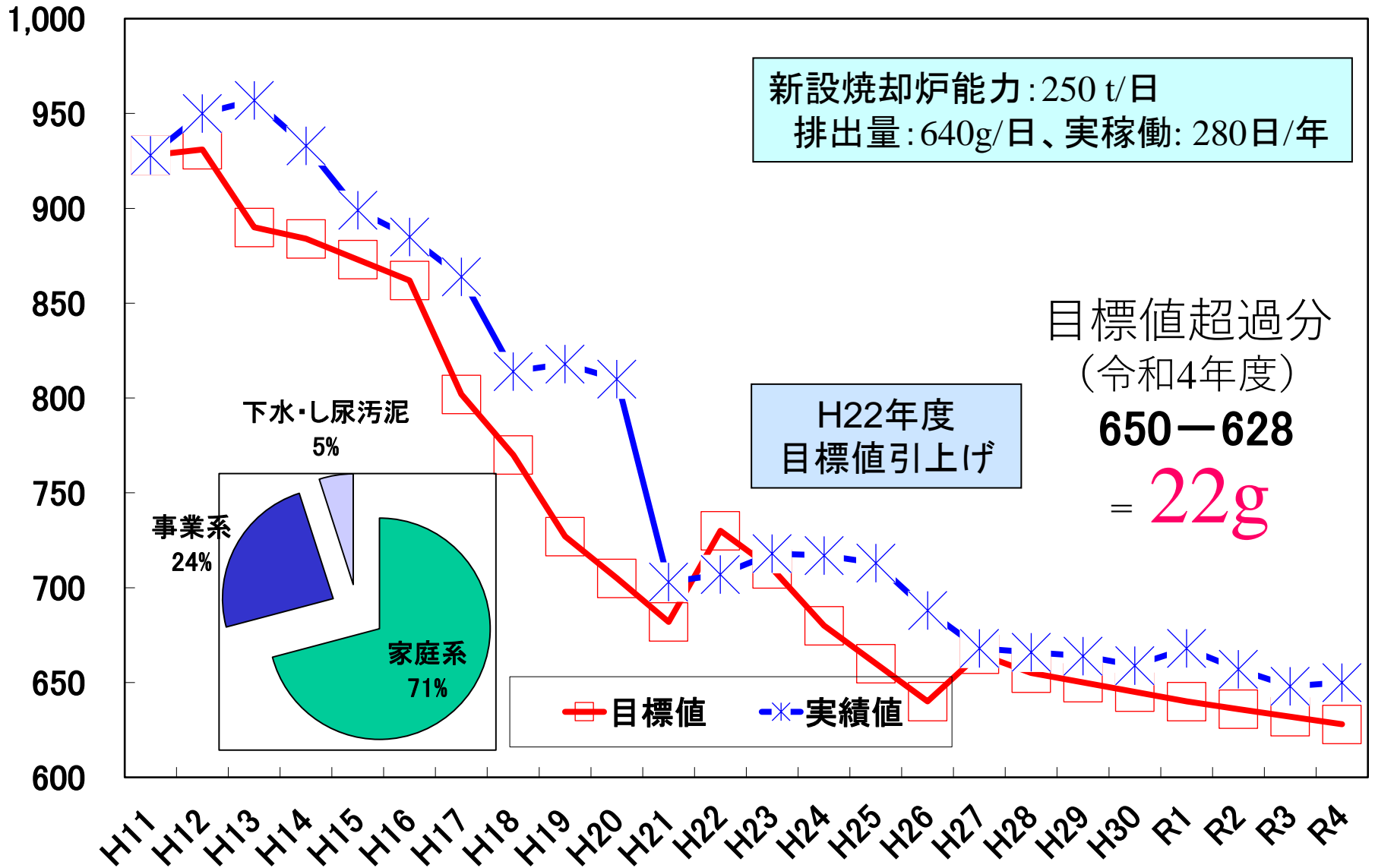


資源物の構成成分の変遷

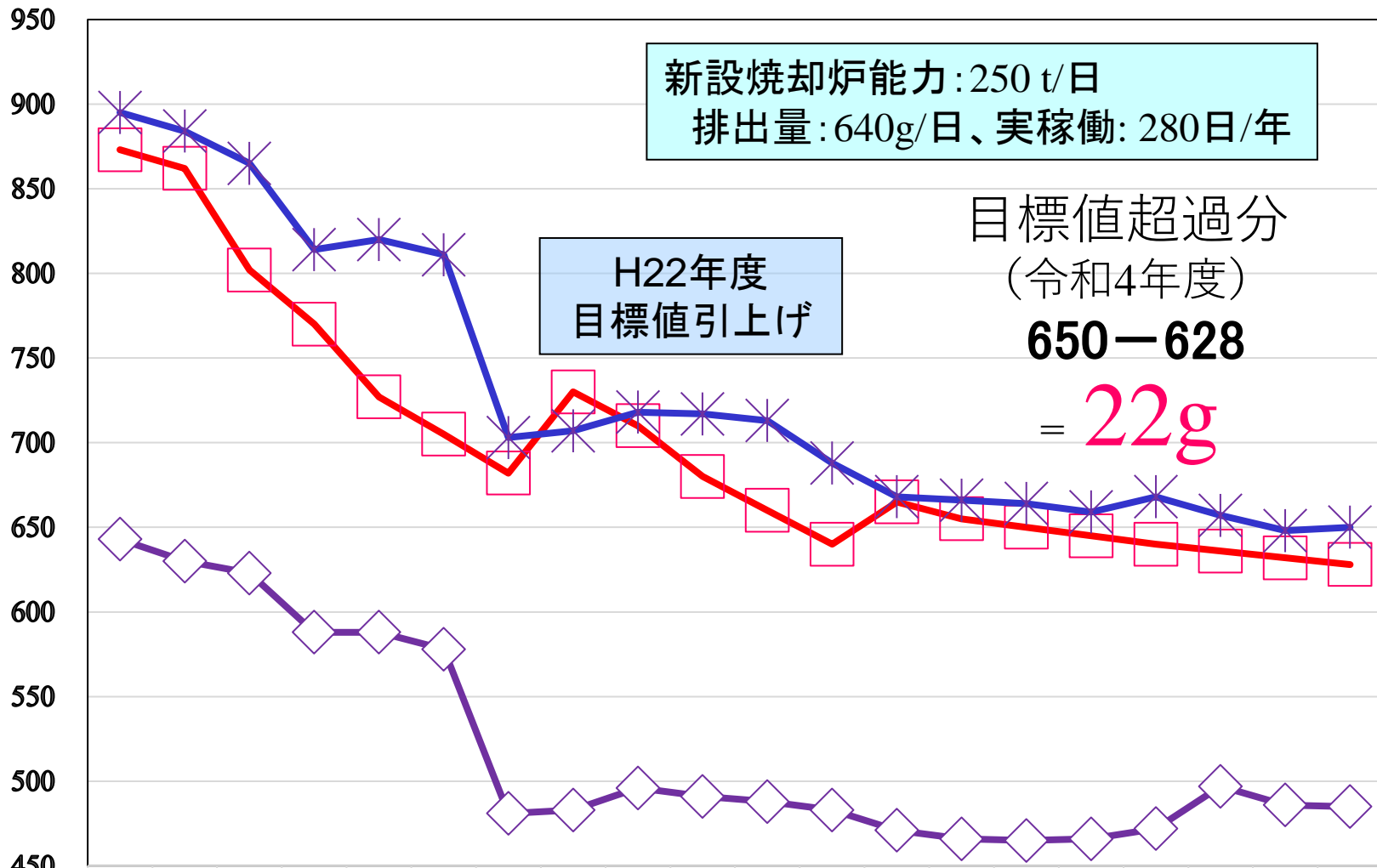
(行政回収のみ)



1人1日あたりの焼却量 [g]



1人1日あたりの焼却量 [g]



新設焼却炉能力: 250 t/日
 排出量: 640g/日、実稼働: 280日/年

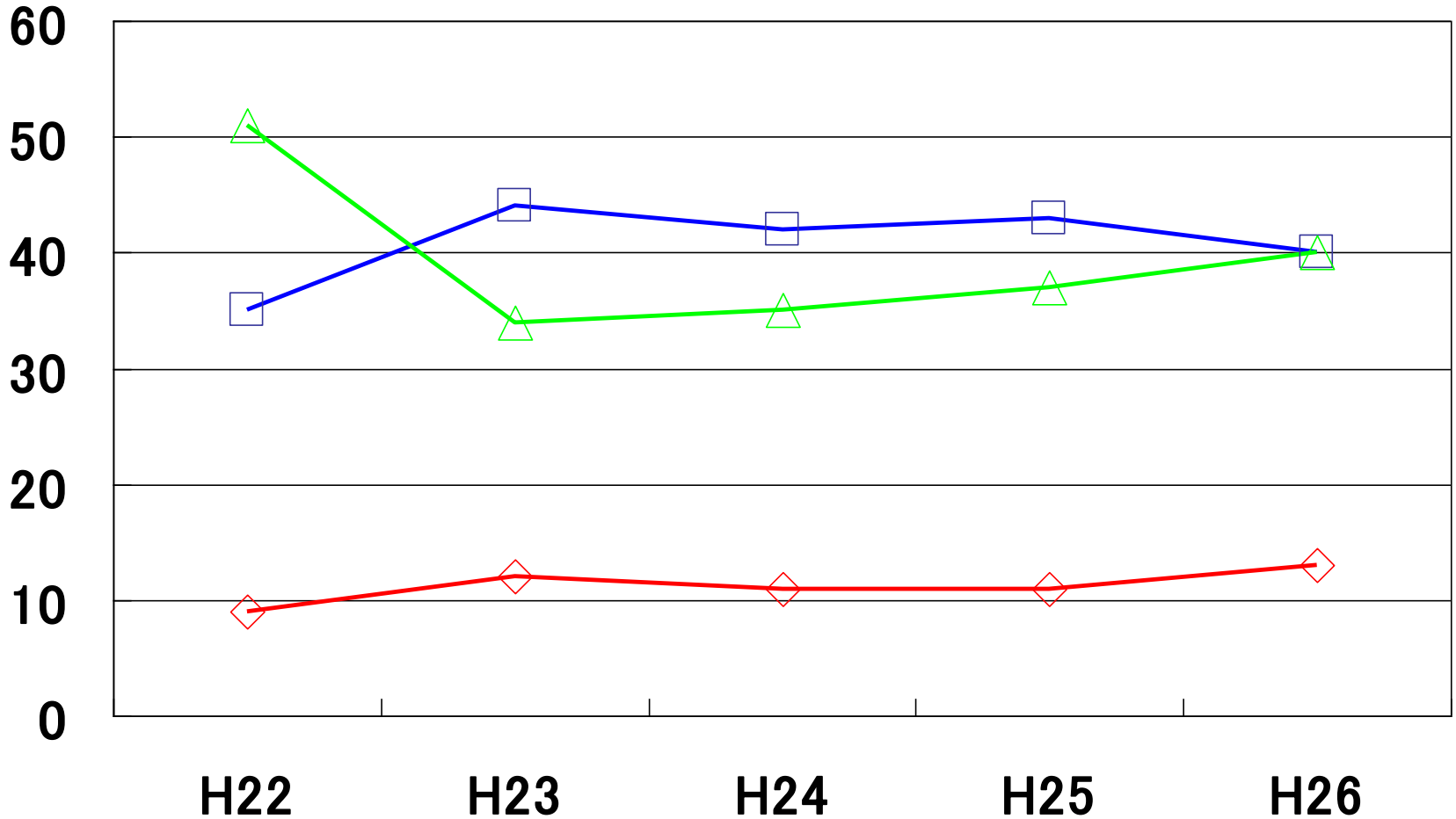
H22年度
 目標値引上げ

目標値超過分
 (令和4年度)
650—628
 = **22g**

	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
目標値	873	862	802	770	727	705	682	730	710	680	660	640	665	655	650	645	640	636	632	628
実績値(全体)	895	884	865	814	820	811	703	707	718	717	713	688	668	666	664	659	668	657	648	650
実績値(家庭系のみ)	643	630	623	588	588	578	481	483	496	491	488	483	471	466	465	466	472	497	486	485

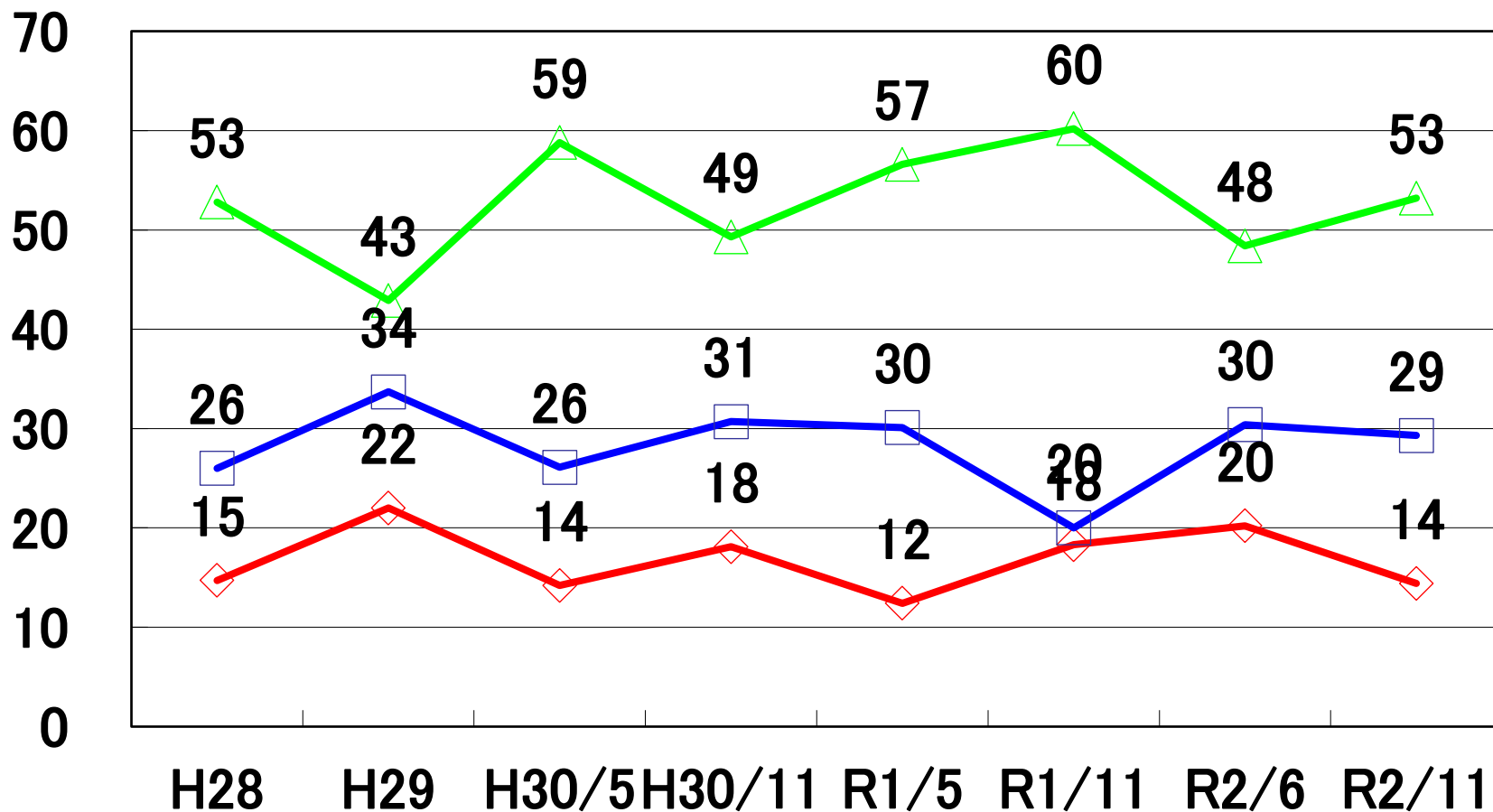
燃やすごみの内容調査

◆ 分別不適ごみ □ 生ごみ ▲ 生ごみ以外の可燃ごみ



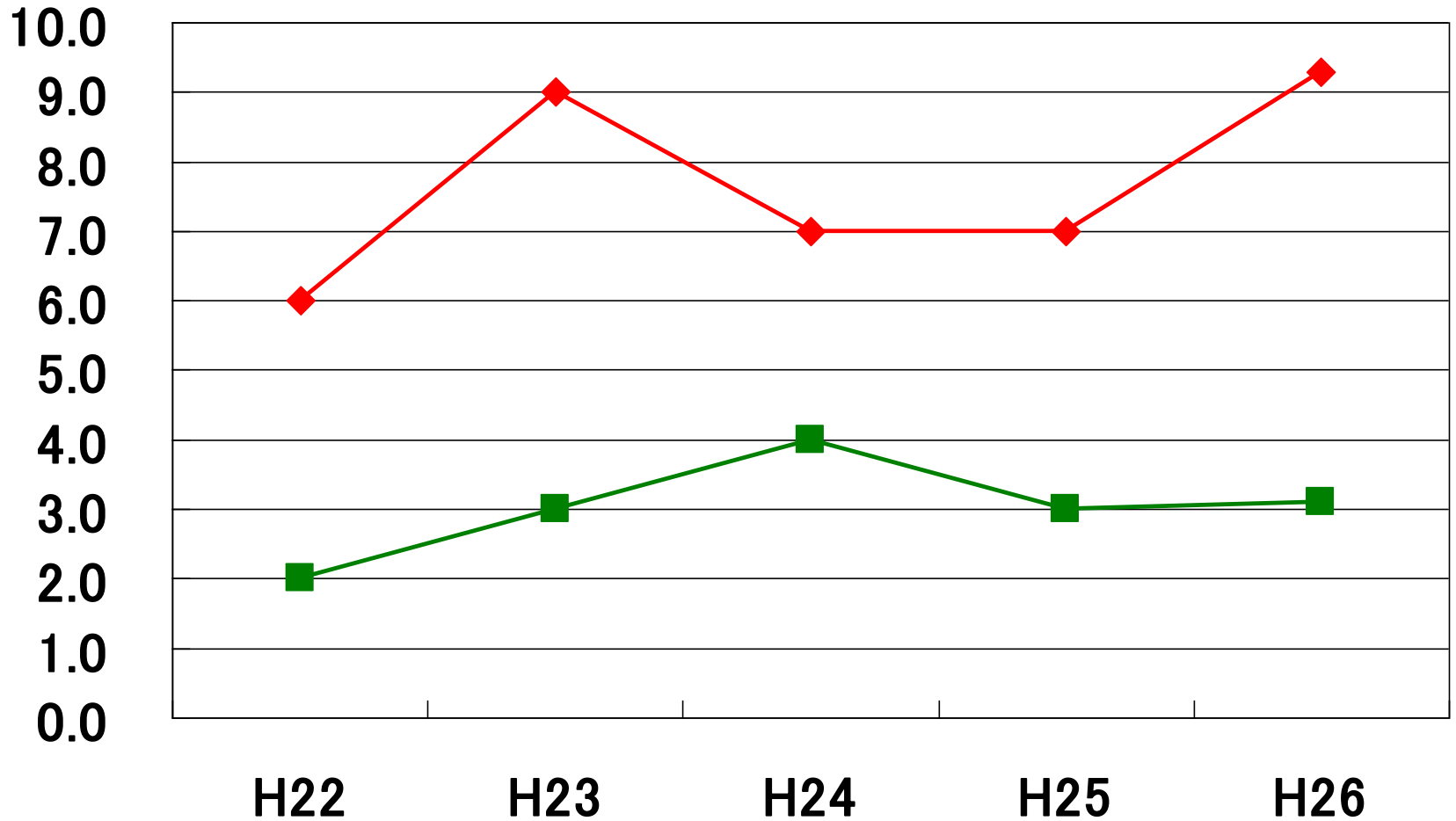
燃やすごみの内容調査

◆ 分別不適ごみ □ 生ごみ ▲ 生ごみ以外の可燃ごみ



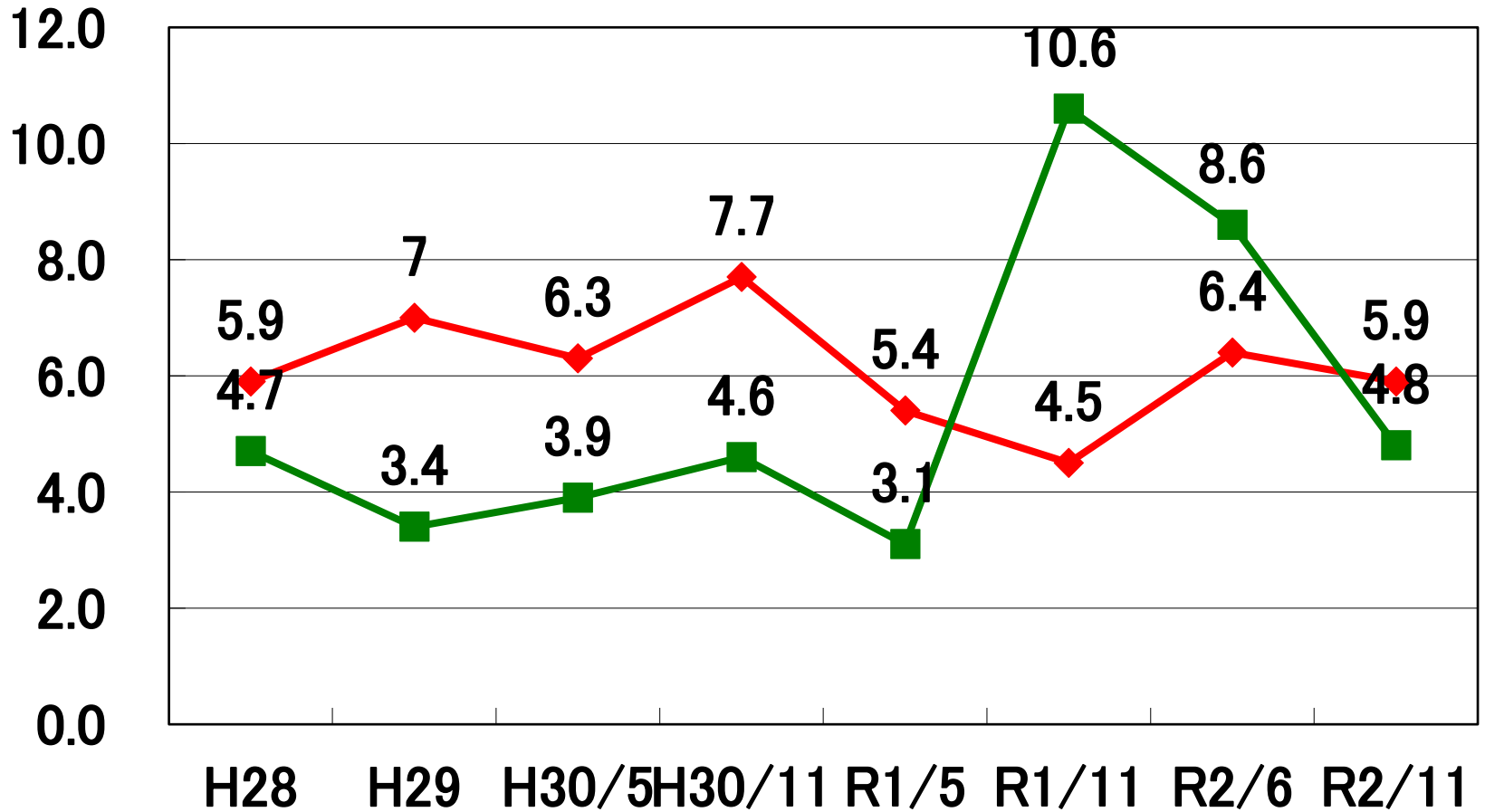
分別不適ごみの構成物

◆ 古紙 ■ 容器包装プラ



分別不適ごみの構成物

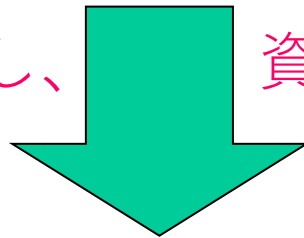
◆古紙 ■容器包装プラ



“ごみ処理”って何か?!

- 排出者(住民)が不用となったもの
⇒捨てる時、できるだけ手間をかけたくない
- 処理する側(行政)
⇒できるだけ少なくて、
処理しやすく別けて出してほしい

ごみを減らし、



資源化率を向上させる為には、

行政側から住民への強い指導が必須
(ほっといたら住民は手抜きに走る!!)

皆さんにお願いしたいこと

- 生ごみ減量・資源化（80%は水分）
 - 生ごみを作らない家庭生活の実践
 - 生ごみ自家処理（家庭用生ごみ処理機器、ボカシ）
 - 生ごみの一絞り運動
- 紙ごみ資源化
 - その他の紙の分別回収・資源化
- 容器包装ごみ減量・資源化
 - ペットボトル、白色トレイのステーション回収・資源化
 - マイバック持参運動
 - プラ製容器包装類の回収・資源化

お話、難しかったですか？

本件に関するご質問・ご意見等ありましたら、
下記までご一報ください。

NPO法人富士市のごみを考える会

TEL:0545-61-3834

E-mail:tokita-y@cy.tnc.ne.jp

廃棄物

一般廃棄物

産業廃棄物

し尿・
生活雑排水

ごみ

家庭系ごみ

事業系ごみ

～ 一般家庭の日常生活に伴って発生する廃棄物

～ 事業活動に伴って発生する廃棄物のうち、産業廃棄物に該当しないもの

●排出者責任●

廃棄物を出す人が、その適正な循環の利用や処分について責任を負うこと

たとえば、

- 廃棄物を出す人は、きちんと分別する。
- 事業者は、自分が出す廃棄物のリサイクル・処分について責任を負う。

●拡大生産者責任●

その製品が使用され、廃棄した後も循環の利用や処分について生産者が一定の責任を負うこと

たとえば、

- リサイクルや処分をしやすいように、製品の設計や材質を工夫する。
- リサイクルや処分をしやすいように、製品に材質等を表示する。
- 製品が廃棄物になった後、生産者が引取りやリサイクルを実施する。

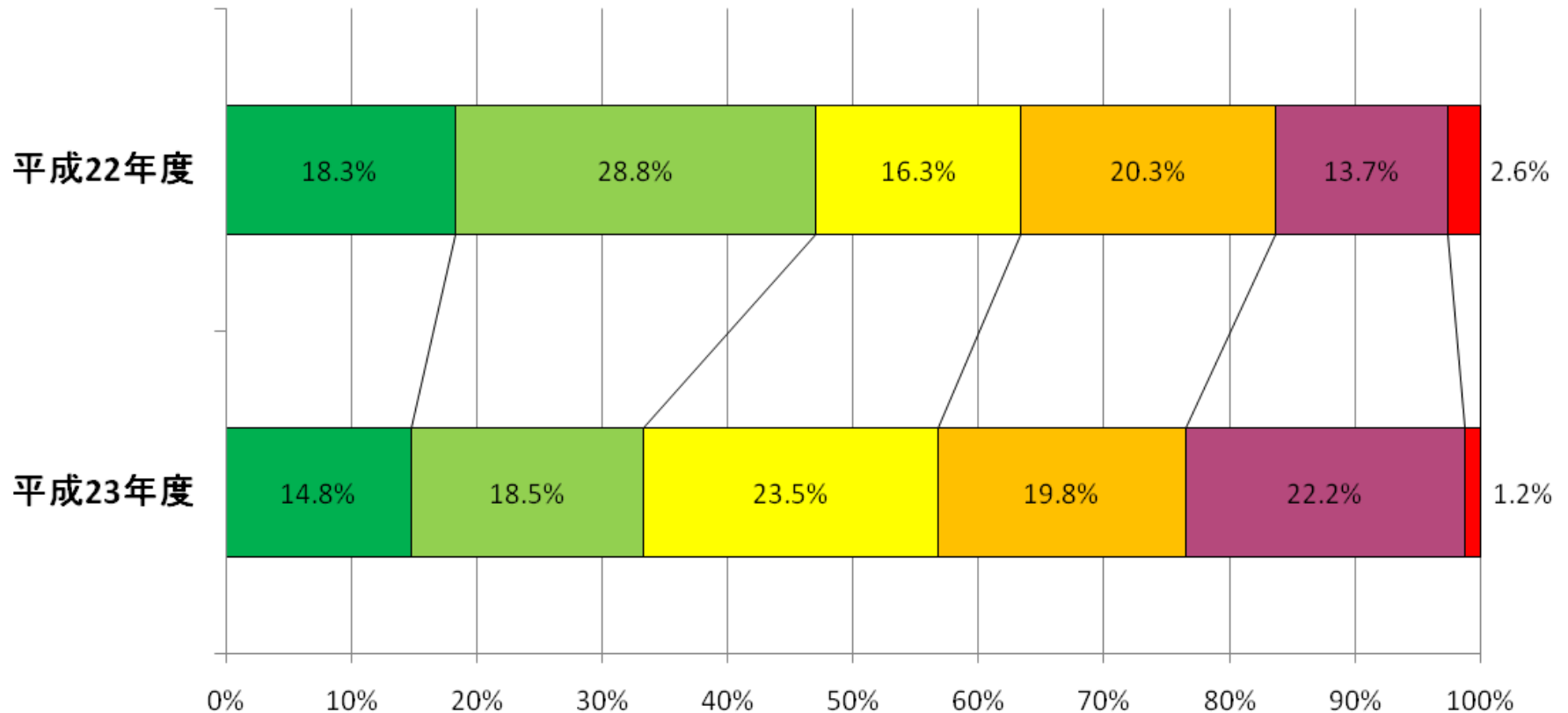
～ 事業活動に伴って発生する廃棄物のうち、法令で定められているもの

事業者が自らの責任において適正に処理しなければならない廃棄物

燃やすごみの内容調査 (1)

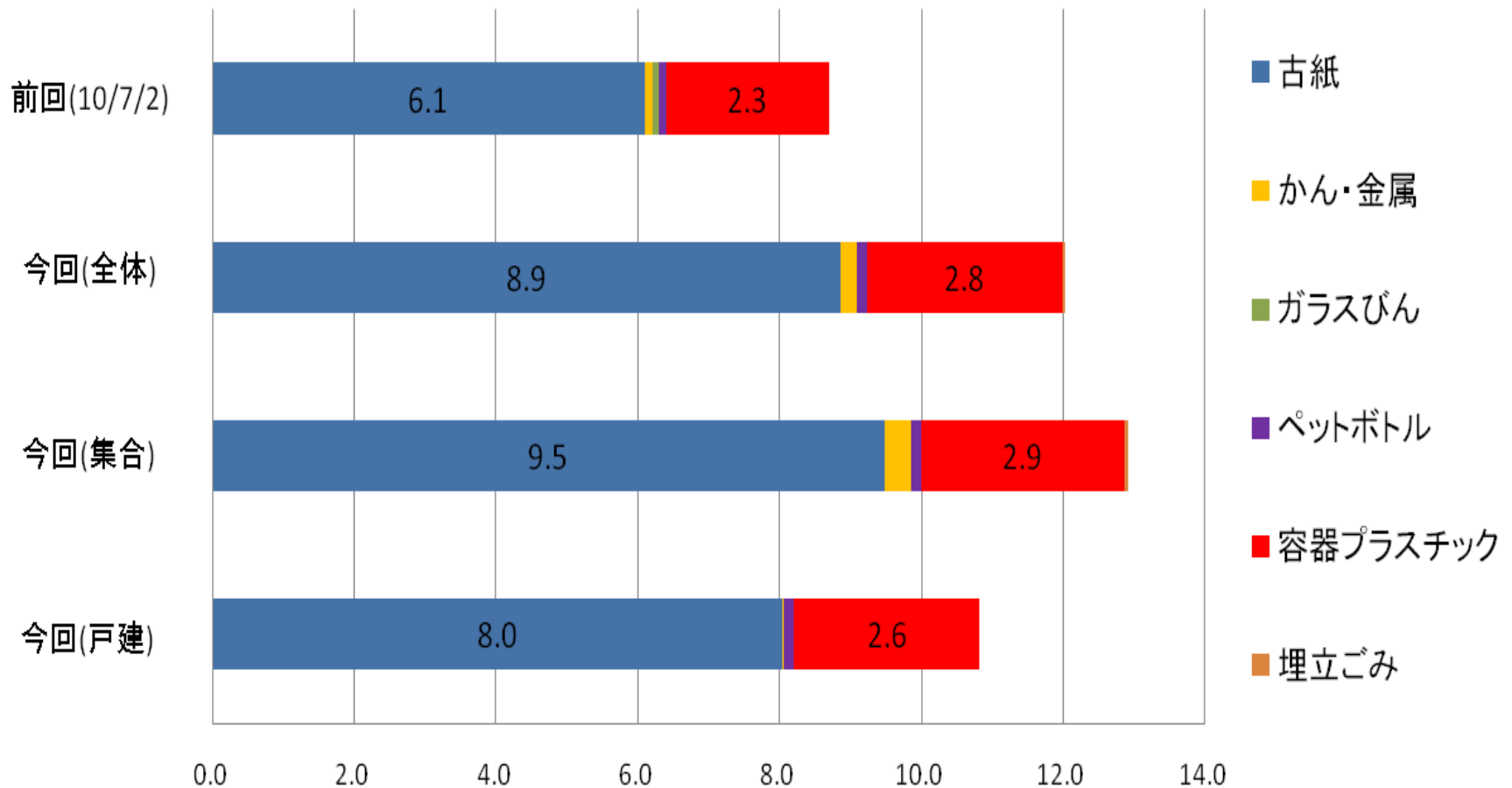
分別不適ごみの混入割合

■ 混入無し ■ ~5%未満 ■ ~10%未満 ■ ~20%未満 ■ ~50%未満 ■ 50%以上



燃やすごみの内容調査 (2)

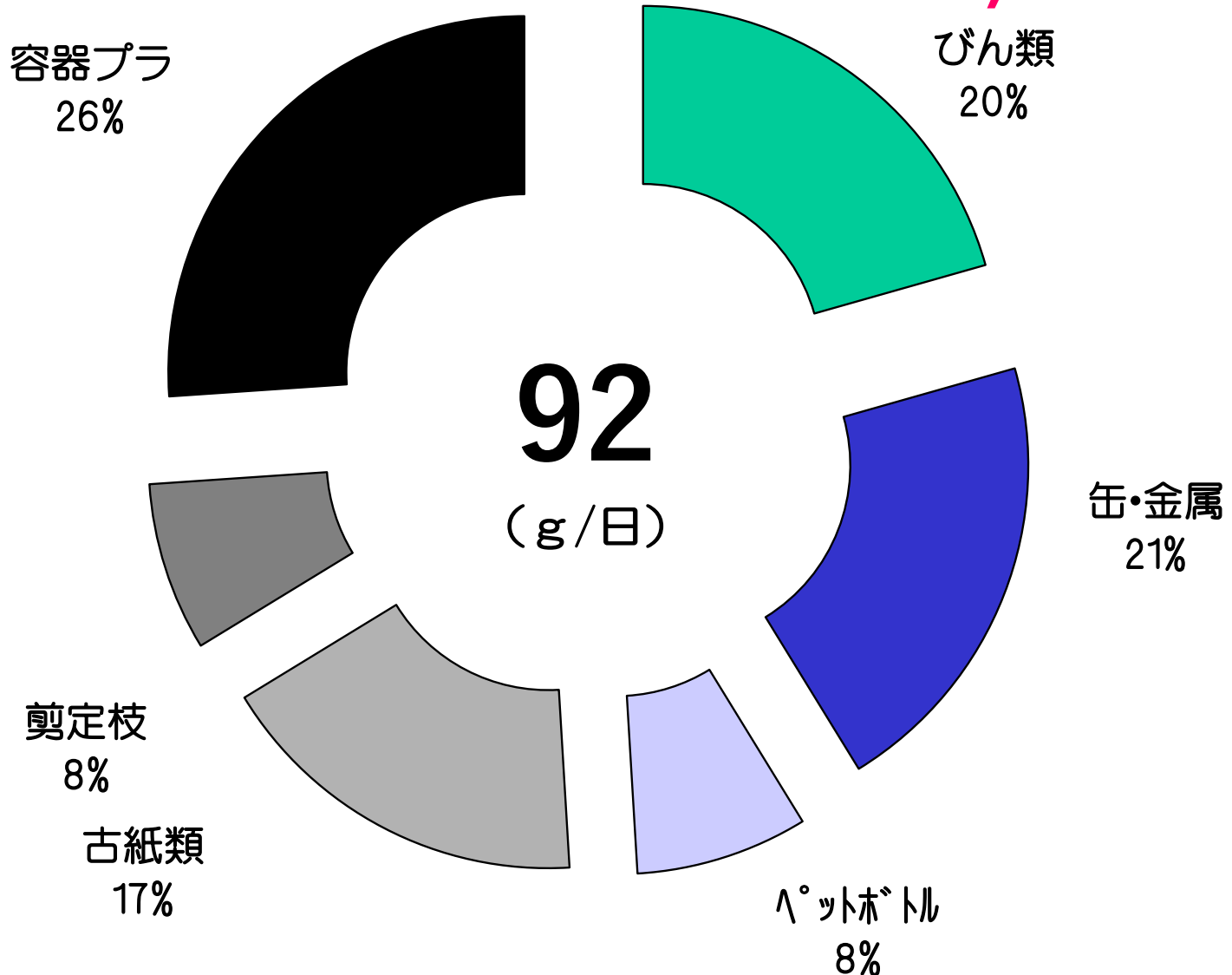
分別不適ごみの構成比



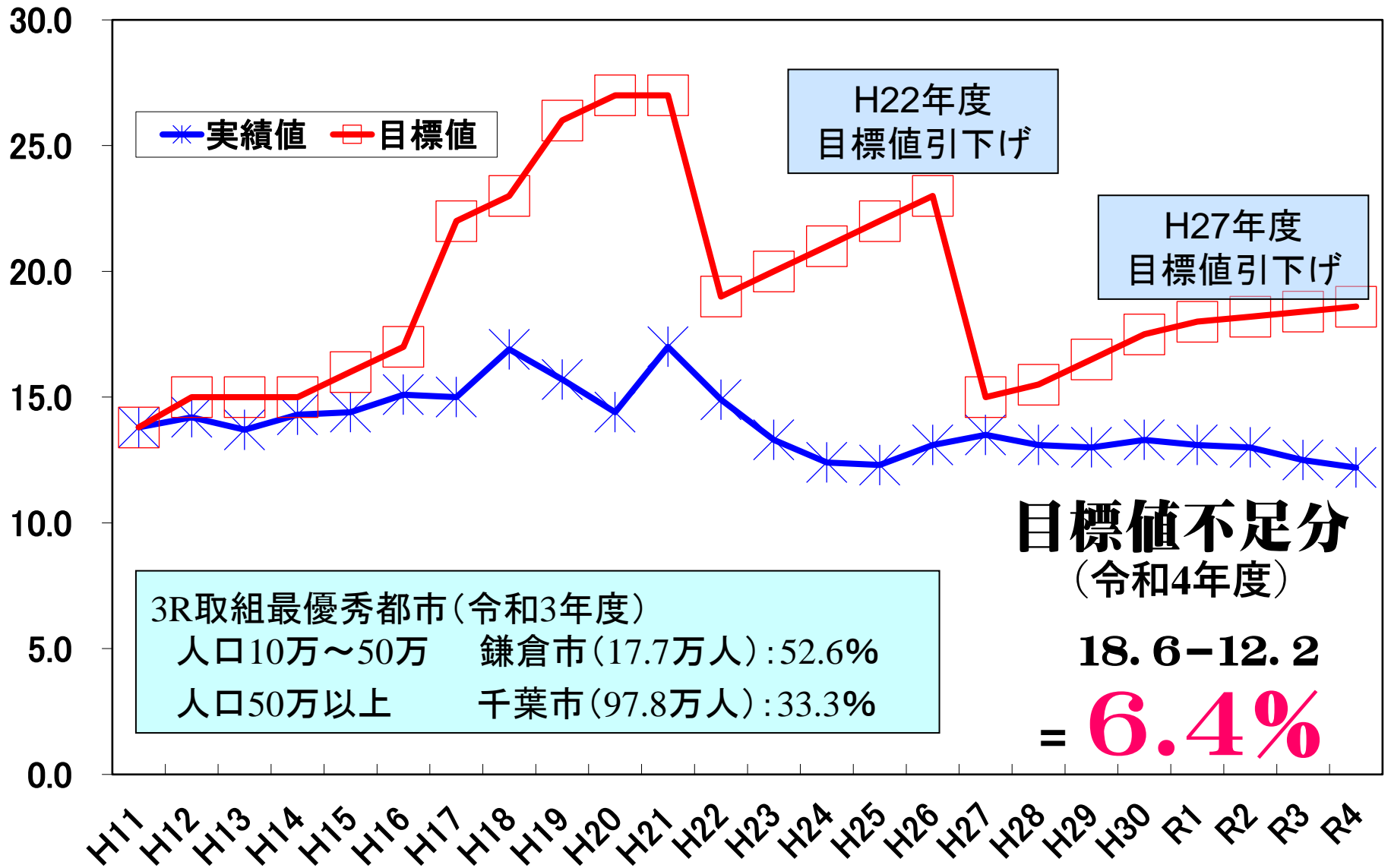
富士市の令和4年度の

“資源化物”

8,334 t



再資源化率 [%]



富士市のごみ処理状況総括

- 総排出量 & 焼却量：全国レベルで“中”
 - 市民の意欲（行政の姿勢、出前講座、有料化）
- 資源化率：全国レベルで“下”
 - 行政の施策（新たな資源化施策の提案・実施）
 - 市民への指導力（新たな分別への協力要請）

ごみを減らすために、
富士市は何をしてきたか

いろいろやってきた ⇒ でも、目標値は達成できない
⇒ じゃあ、目標値を下げよう!!!

2

フジスマートプラン21の概要

1 フジスマートプラン21の目的

フジスマートプラン21の目的は、「富士山が映えるきれいなまち ふじ」を目指して3つの基本理念を基本として、循環型システムを整備し、持続的発展を図ることです。

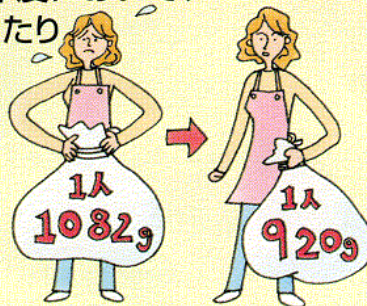
2 フジスマートプラン21の目標

フジスマートプラン21は、平成12年度を起点とし、平成26年度を目標年次とした15年間の長期計画です。目標年次における具体的な目標値は次のとおりです。

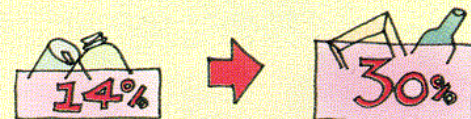
■ フジスマートプラン21で掲げる4つの目標

- 平成26年度において、1人1日あたり排出量を920gに

860(858)

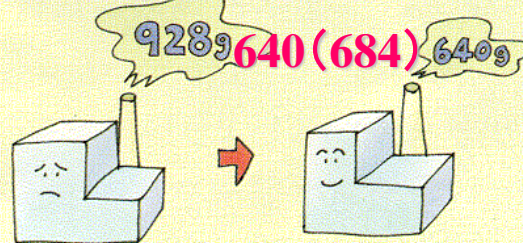


- 平成26年度において、資源化率30%に

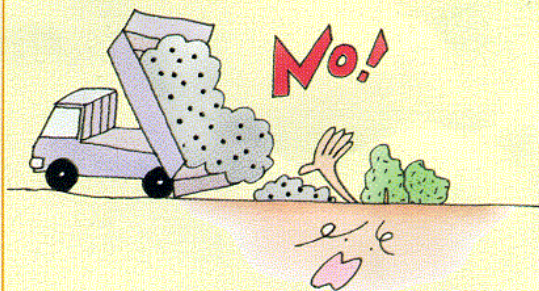


23.0(17.6)

- 平成26年度において、1人1日あたり焼却量を640gに



- 埋立量を極力ゼロに



※修正目標値(単純推計値)

富士市のごみ処理施策の経緯(1)

平成11年	・ペットボトル拠点回収開始(市内54店舗)
平成12年	・剪定枝資源化モデル事業開始 ・ごみ処理基本計画策定検討委員会設置 ・環境クリーンセンター更新検討委員会設置
平成13年	・生ごみ処理機購入補助金制度導入
平成15年	・廃棄物等減量化推進審議会設置(継続中) ・ごみマイスター育成開始
平成16年	・地域生ごみ処理モデル事業開始

富士市のごみ処理施策の経緯(2)

平成18年	<ul style="list-style-type: none">・その他の紙、 ペットボトルのステーション回収開始・白色トレイの拠点回収開始(18店舗)
平成20年	<ul style="list-style-type: none">・田子浦地区において、 プラスチック製容器包装類の分別回収開始・廃食用油拠点回収開始(10箇所)
平成21年	<ul style="list-style-type: none">・プラスチック製容器包装類の ステーション回収、市内全域開始・ごみの指定袋制導入・レジ袋の無料配布中止(9事業者31店舗)

富士市のごみ処理施策の経緯(3)

平成22年

- ・家庭用手動式生ごみ処理機器
購入補助金制度開始
(ダンボールコンポスト“だつくす食んたくん”)
- ・学校における廃食用油試行回収開始
(富士南小学校)

ごみを減らすために、
富士市は何をしようと
しているのか

最近の排出抑制・資源化施策

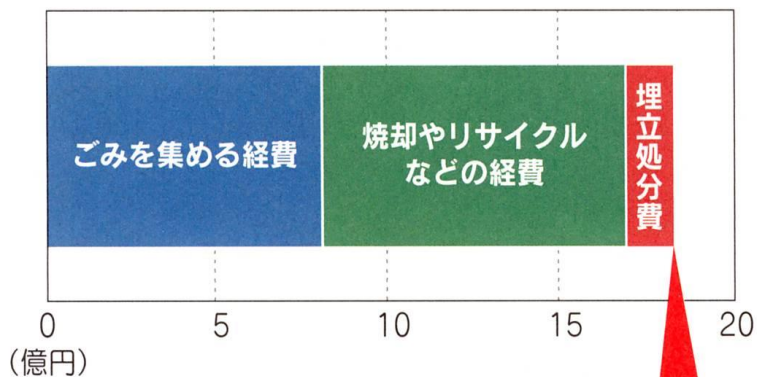
- 生ごみ減量・資源化の推進
 - 生ごみ資源化講座
 - 生ごみ自家処理（家庭用生ごみ処理機器、ボカシ）
 - 生ごみの一絞り運動
 - 廃食用油のBDF化
- 紙ごみ 分別の徹底
 - その他の紙の分別回収・資源化
- 容器包装ごみ減量・分別の徹底
 - ペットボトル、白色トレイのステーション回収・資源化
 - レジ袋の有料化ーマイバック持参運動
 - プラ製容器包装類の回収・資源化
- 指定ごみ袋制の導入
- ごみの有料化

富士市の
ごみ処理状況

No.17

ごみ減量で**ごみ処理経費**も**削減!**

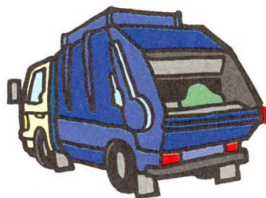
【平成18年度ごみ処理経費】



みなさんのおかげでごみ減量が進んだ平成18年度のごみ処理経費は、**約18億円**でした。これは前年度と比較して1億8千万円も削減できたこととなります。

とはいえ、捨てられたごみを処分するために**18億円**ものお金が使われることは、とてももったいないことです。私たち一人ひとりが、日常生活の中で少しずつごみを減らし、ごみ処理にかかるお金を減らしていきましょう。

1年間のごみ処理経費は…



約18億円



1年間の費用で、
公民館が6館建てられます!

平成21年度資源物の収支報告をします

各世帯から集められた資源物は、中間処理業者へと収集運搬され、最終的に再資源化業者によってリサイクルされています。
ここでは、平成21年度の資源物の回収量、それに対する費用、売払金について報告します。



品目	回収量(t)	支出			収入
		収集運搬費(千円)	中間処理費(千円)	再資源化費(千円)	売払金(千円)
かん	815	37,422			26,683
金属類	1,118				26,531
ペットボトル	620	3,358	11,059		9,083
プラスチック製 容器包装	2,199	48,132	55,945	4,977	
びん	1,889	39,448	27,234	1,153	634
古紙類	6,240	52,741	支出合計: 282,260		24,143
廃食用油	8	791			201
合計	12,889	181,892	94,238	6,130	87,275

※かんの売払い金額のうち、一部は就労支援施設に寄付しています。